



今月の一枚

昭和40年代、懐かしのボンネットバス(宮守駅行き)と谷内線のバスです。
白土の多田吉廣さんの家に保管してあった写真です。田瀬地内で撮影されたものと思われます。
撮影場所にお心当たりのある方はご一報ください。



4月行事予定

一斉清掃&ゴミ川柳実行委員会 8日(木) 午前10時～
コミュニティ会議 監査 9日(金) 午前10時～
役員会 13日(火) 午後6時30分～
総会 17日(土) 午後3時～
田瀬湖一斉清掃&ゴミ川柳 25日(日) 午前8時30分～



振興センター・社会体育館の利用制限が緩和されました。 令和3年3月19日(金)～当面の間

振興センター

- ・対象制限：市民・市内団体
- ・開館日：制限なし(通常通り)
- ・利用時間：制限なし(通常通り)
- ・利用人数：人数制限あり
(対人距離2m 最低1m)
- ・利用時間：2時間以内
- ・その他：飲食・調理一部可
料理教室などの調理実習は可
料理教室などの実習で調理した飲食物、会議等の茶集、弁当は可(懇談や交流を目的とする会食は不可)

地区社会体育館

- ・対象制限：市民・市内団体
- ・利用人数：人数制限あり
(対人距離2m 最低1m)
- ・利用時間：制限なし
- ・その他：飲食不可
(水分補給、弁当のみ可)

田瀬地区の人口

(令和3年2月末現在)

行政区	世帯数	人 数			比 較 (1月末)
		男	女	計	
田瀬第1	72	87	100	187	—
田瀬第2	29	37	34	71	—
田瀬第3	75	85	94	179	1人増
計	176	209	228	437	1人増

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで

令和3年4月1日発行 No.167

湖畔の風

☆ 会長あいさつ 令和3年度スタートします！ ☆

日ごとに暖かさの増す、今日この頃ですが、皆様におかれましては農作業の準備等で忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、当コミュニティ会議は、新花巻市が誕生した翌年の平成19年4月に設立されてから14年が経過いたしました。新花巻市誕生の平成18年4月1日現在の田瀬の人口611人が令和2年12月末には437人となり、174人(28.4%)も減少しており、人口減少、少子高齢化が地域の大きな課題となっております。

令和2年度は、猛威を振るっております新型コロナウイルス感染症防止のため中止した事業もありました。主なもので「先進地視察研修、さわやかウォーキング、田瀬のみのりまつり、伝統芸能発表会」です。特に田瀬のみのりまつりはキノコが豊作にありながら実施できませんでした。

このような状況下にあっても、砥石の採掘、水晶の発掘、金の発掘と3密を避けた新しい事業に取り組むことができました。地域の皆様多数の参加協力に深く感謝申し上げます。自治会を始め各団体との連携を図りながら生活環境、保健福祉、産業振興、建設、防災、教育振興等それぞれの事業を皆様の知恵と工夫をいただきながら、笑顔で暮らせる住みよい田瀬地域を目指し取り組んでまいります。

最後に、本年度は新型コロナウイルスが終息し、予定通り行事が出来ますことを願うとともに、田瀬地域全体が明るく盛り上がるよう皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

田瀬地域コミュニティ会議

会長 菅原 勇一



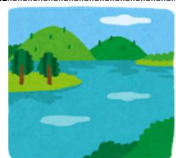
水晶発掘探検



金の発掘探検



砥石発掘調査



『田瀬物語』 第6回

故 朝倉 健蔵（花巻市矢沢）

今回から、屋名、屋号についてのお話です。ダムに沈む前の屋号で場所も移転前の場所です。また、金山の事についても書かれています。

それではここから…屋名と人との関係を調べてみたいと思います。

まず、こうして考えるときに思い浮かぶのは向田瀬の事です。

向田瀬には、十数戸の家がありましたが、先祖から伝わった各々の屋名で生活してきたのです。それで、住む人の名前は分からなくても屋名で呼び、屋名を知ることによってその人の名前、あるいは性格までわかるのです。そして、十数戸の全戸が湖底に沈み、各々が先祖伝来の屋名と別れ、移転されたのです。後までその大切な屋名を残すために、列記してみたいと思います。

川上から… 【苦餅】【八穴】【金取】【清水】【川内】【川端】【台】【上】【下】

どの時代に誰がつけたかわからない屋名とともに、生きてきたのです。ですから、部落名をつけて、上・下で…例えば「向田瀬の下」で人間と、その生活状況まで知ることが出来るのでした。

【荷屋】【西】【大屋】【だんな屋敷】【土場】【土場の下】【土場の上】【泉屋敷】【^{でんじょう}上
の家】【新田】【新田の家子^{いえご}】

例えば、新田の人達が矢沢に移転したため、「新田からはなれたくない」と言って、家子の人達も矢沢に移転し、二番組で暮らしています。

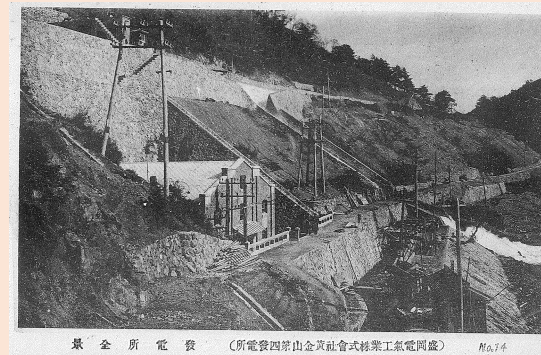
田舎なれども南部のくには西も東も金の山

とありますように、南に黄金沢、東に砥森山、西に鳩小沢。ダムの周りに三つの金山がありました。特に黄金沢付近では、猿ヶ石川をはさみ南の黄金沢山からたくさんの金の鉱石が掘り出され、トロッコによって運び出され、選鉱場で女達を選鉱し、選ばれた金鉱石を北側の製錬所に運ばれ金のうすに金のきねで「がたん、ごどん」とつくのでした。

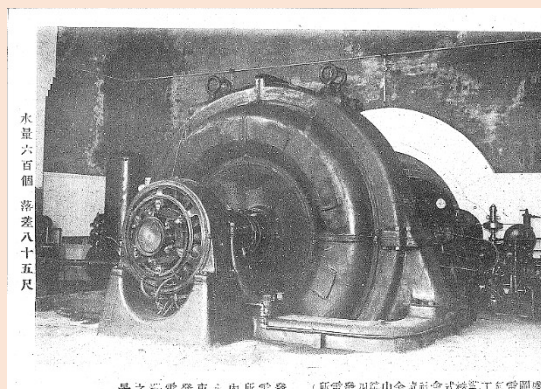
掘る人、トロッコで運び出す人、それを選鉱する女性、製錬所で働く人と、14～15人の人が常に働いておるのです。近くには、「黄金沢水力発電所」（次ページに当時の写真あり）があり、常にゴウゴウと音をたてていました。その発電所の音、製錬所の鉱石をつく音で、あたりの山々にこだまし、にぎやかな時代があったものです。時の流れとともに…現在はその音を聞くこともなくひっそりとした…ここに金山があったという場所のみがねびっているのです。昔はその金山で田瀬村が成り立っていたものです。時代とともに……。金山との関係をのちの世まで伝える様に書き残したいと思い、書いてみました。

（ちなみに、その金山は健蔵さんが青年だったころまで稼いでいました。60～70年前に休山したのです。） 《第6回 終わり》

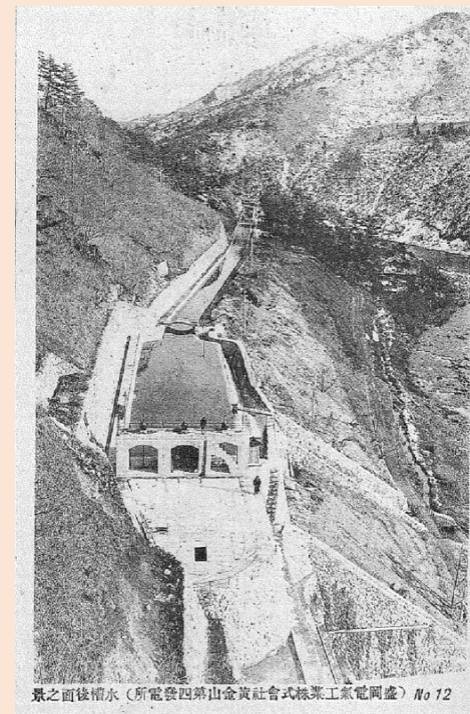
黄金沢発電所 創業当時の写真（左上：発電所全景、左下：所内水車発電機、右：水そう後ろ）



景 全 所 電 發 （所電發四第山金貴社合式株業工氣電岡盛） No.14



景之電電發車小内所電發 （所電發四第山金貴社合式株業工氣電岡盛）



景之面後槽水 （所電發四第山金貴社合式株業工氣電岡盛） No.12

黄金山発電所は岩手県花巻市にあった発電所。「黄金沢発電所」として紹介されていることもある。1920（大正9）年、盛岡電気工事株式会社（明治37年7月創設）が黄金山金山開発のため建設。出力は3150kwであった。1941（昭和16）年着工1954（昭和29）年竣工の田瀬ダム（たせダム）により水没、岩根橋発電所と共に廃止された。（ホームページ：廃墟検索地図より）

令和3年度 『田瀬の笑顔カレンダー』 できました。



4月1日、田瀬地区、全戸に配布されます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策により、予定されていた事業の多くが中止され、地域の方々の笑顔に出会うチャンスが少なかったです。

そんなわけで、数少ない実施した事業や各自治会の行事から、選りすぐりの笑顔に掲載したカレンダーになりました。

令和3年度は、より多くの田瀬の笑顔に掲載できるよう、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



みんな、コロナにかからないようにするべしなァー！

